

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	IT・プログラミング療育 ツクル ミ・ナーラ校		
○保護者評価実施期間	2025年 2月19日		2025年 3月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	93	(回答者数) 40
○従業者評価実施期間	2025年 2月18日		2025年 2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが自発的に物事を決めることができる	子どもが当日の取り組み課題を自身で設定した目標や目的に基づいて計画している	さらに内発的動機を発展させるため子どものステップアップしたい気持ちを後押しできるメニューを増やす
2	職員や他児童との関わりの中でアイデンティティを育む	小集団活動やITマルチプレイなどを通して他者と自分との違いを感じながらも、受け入れられている、受け入れることを意識する働きかけを行っている	ミラーリング効果などを用いながら子どもが分かりやすく感じ取れる働きかけと取り組みを行う
3	発達心理などに基づいたSSTの実施	年間を通して5領域を網羅し発達心理に基づいたSST計画を行い週間で内容を変えて実施し保護者へ内容を掲示している	小学校中学年から中学生が混在するため年代に応じた集団分けと取り組みを構築しつつ、混在の良さも生かしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者に対する働きかけやペアレントトレーニングなどの企画、様々な情報発信	保護者会を企画したが参加希望者がいなかったが、ワークショップイベントは盛況だった。普段からのシステムからの情報発信を見ていない保護者も多い。	保護者会の企画内容を改め参加しやすい日時や内容を考案する。システムからの情報発信が周知されるよう保護者へ案内を強化する。
2	各マニュアルの周知徹底	各マニュアルや安全計画についての周知が徹底されておらず行き渡っていない	各マニュアルや安全計画について案内を強化する
3	地域の子どもとの交流	事業所内では地域の子どもたちを受け入れ出来る場所がなく、他所を借りた対応が必要。利用者が求めているのか調査が必要。	利用者・保護者へ地域の子どもたちとの交流についてアンケート調査し、要望の度合いに応じた企画を考案する。その際は事業所内では対応が難しいため、他所でのイベントなどを企画する。